

2014 年 7 月 31 日

各 位

J X 日鉱日石金属株式会社

電解銅箔事業の構造改革について

J X 日鉱日石金属株式会社（本社：東京都千代田区大手町二丁目、社長：大井滋）は、本日、以下の内容による電解銅箔事業の構造改革の実施を決定いたしましたので、お知らせいたします。

1. 構造改革の背景

プリント回路基板が主要用途である電解銅箔の需要は、世界的なエレクトロニクス・自動車関連市場の成長を背景に、引き続き拡大傾向にあります。一方、供給サイドでは、中国・台湾などの新興メーカーの台頭により価格競争が激化し、汎用品を中心に収益力が大きく低下しています。

当社は、長年蓄積された技術力を背景に、スマートフォン・タブレット端末向けの極薄箔や、微細加工性に優れたパッケージ用低粗度箔などの高機能品へのシフトを戦略的に進めてまいりました。今般、この戦略を更に徹底し、電解銅箔事業全体としての収益力を高め競争力を一層強化すべく、構造改革の実施に至ったものです。

2. 構造改革の内容

ドイツ拠点（Gould Electronics GmbH）：

欧州の電解銅箔市場は縮小を継続しており、今後も回復に向かう目途がないことから、2014 年末を目途に生産を停止し、2015 年以降、会社を解散する予定です。

フィリピン拠点（JX Nippon Mining & Metals Philippines, Inc.）：

2014 年末を目途に汎用品の生産を停止し、高機能品の専業体制にシフトする予定です。またユビノーグに関しては日立工場にその生産を集約致します。なお、圧延銅箔の生産能力は従来通り維持してまいります。

国内拠点：

従来どおり、高機能品を中心とした製造を継続するとともに、新製品の開発拠点として運営してまいります。

3. 構造改革による影響

本構造改革に伴う費用として概算 100 億円の特別損失を見込んでおります。また、本構造改革の実施により、2015 年度以降、年間約 25 億円の経常利益改善効果を見込んでおります。

以 上

(参考) ドイツ、フィリピン拠点の概要

(ドイツ拠点)

名 称	Gould Electronics GmbH
所 在 地	Hauptstrasse 3, 79356 Eichstetten, Germany
代 表 者	Thomas Zipfel, President & General Manager
設 立	1961 年
資 本 金	5.1 百万ユーロ (2014 年 6 月時点)
出 資 者	J X 日鉱日石金属株式会社 (100%)
従 業 員 数	160 名 (2014 年 6 月時点)
事 業 内 容	電解銅箔、CAC 等の製造販売

(フィリピン拠点)

名 称	JX Nippon Mining & Metals Philippines, Inc.
所 在 地	117 East Science Ave., Laguna Technopark, Binan, Laguna, Philippines
代 表 者	飯田一彦 President
設 立	1996 年
資 本 金	4 百万米ドル (2014 年 6 月時点)
出 資 者	J X 日鉱日石金属株式会社 (100%)
従 業 員 数	342 名 (2014 年 6 月時点)
事 業 内 容	電解銅箔、圧延銅箔、ユピノーク (高純度硫酸銅) の製造販売